

第145回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年4月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,958	-1.61	-0.37	4,047	-0.63	-0.24
東部地区	14,258	-0.61	0.65	5,581	0.34	1.38
西部地区	10,855	0.85	0.48	4,001	2.56	0.70
駅南地区	6,380	-0.14	0.25	2,639	1.69	0.49
半田地区	3,551	0.82	0.45	1,305	1.87	1.08
横山地区	5,641	-0.54	0.07	1,836	-0.16	0.16
茨目・田尻地区	6,845	-1.26	-0.18	2,269	-2.07	-0.26
荒浜地区	5,219	-1.26	0.09	2,024	0.29	0.24
その他地区	21,451	-2.00	-0.19	7,183	-0.86	0.06
西山町地区	6,481	-1.65	-0.26	2,151	-0.32	-0.04
高柳町地区	2,028	-4.38	-0.29	850	-1.39	-0.11
柏崎市計	92,667	-1.03	0.07	33,886	0.10	0.37
刈羽村	4,973	-0.50	0.10	1,533	1.25	0.59
小国地区（長岡市）	6,573	-1.39	-0.04	2,156	0.27	0.23
出雲崎町	5,315	-1.46	-0.24	1,828	0.05	0.00
合計	109,528	-1.04	0.05	39,403	0.15	0.35

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で965人、1.03%、刈羽村で25人、0.50%、小国地区（長岡市）で93人、1.39%、出雲崎町で79人、1.46%とそれぞれ減少し、全体では1,162人、1.04%の減少となった。

また、前月比においては、小国町で3人、0.04%、出雲崎町で13人、0.24%の減少となったものの、柏崎市で72人、0.07%、刈羽村で5人、0.10%、と増加したことから、全体では61人、0.05%の増加となっている。

一方、世帯数は、前年同月比で柏崎市で34世帯、0.10%、刈羽村で19世帯、1.25%、小国町で6世帯、0.27%、出雲崎町で1世帯、0.05%と増加した結果、全体では60世帯、0.15%と増加している。

また、前月比においても、柏崎市で126世帯、0.37%、刈羽村で9世帯、0.59%、小国町で5世帯、0.23%と増加したことから、全体では140世帯、0.35%の増加となった。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,246		2.63		0.40	
月間有効求職者	1,107		-13.71		6.23	
月間有効求人倍率	1.13	0.74	0.18*	-0.16*	-0.06*	-0.07*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,246人と前年同月比で32人、2.63%の増加、前月比でも5人、0.40%と増加した。

一方、月間有効求職者数は1,107人と前年同月比で176人、13.71%と大幅に減少したものの、前月比では65人、6.23%と増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.13倍と前年同月比で0.18ポイント上回ったが、前月比では0.06ポイント下回っている。なお、県平均0.74倍に対しては0.39ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が485人と前年同月比で37人、8.26%の増加、月間新規求職者数も414人と前年同月比で13人、3.24%と増加した結果、月間新規求人倍率は1.17倍と前年同月の1.12倍に対して0.05ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年4月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	134	97	-26	134	97
共 同 住 宅	0	-4	-1	0	-4
事 務 所	3	3	0	3	3
作 業 所 ・ 工 場	4	-1	0	4	-1
営 業 建 物	3	1	1	3	1
公 共 建 物	0	0	0	0	0
そ の 他	8	0	-5	8	0
合 計	152	96	-31	152	96

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が152件と前年同月比で96件と増加したものの、前月比では31件の減少となった。工種別内訳の主な増減を見ると、前年同月比では一般住宅（併用）で97件の大幅な増加、前月比では同じ一般住宅（併用）で26件の減少になっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が60件、増築が56件、改築が36件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が78件（うち新築23件、増築34件、改築21件）、市外施工業者が56件（うち新築27件、増築16件、改築13件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,755	1.92	0.00	19,108	-2.47	-18.04
電 力	11,627	-5.53	-1.52	44,288	-4.66	-6.49

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器械等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,242口、1.92%の増加、前月比では前月と同数となっている。一方、電力では前年同月比で681口、5.53%の減少、前月比でも180口、1.52%の減少となった。

使用量においては、電灯が前年同月比で485千kwh、2.47%の減少、前月比では4,206千kwh、18.04%と大幅に減少している。一方、電力においても前年同月比で2,166千kwh、4.66%の減少、前月比でも3,076千kwh、6.49%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,672,632	-11.61	-10.08	696,198	-1.06	7.22
営 業 用	241,197	-9.08	-21.26	128,113	-0.98	8.35
工 場 用	656,944	51.37	-6.44	136,087	-4.24	-1.43
官 公 学 校 用	343,569	-24.17	-40.94	73,576	-3.56	0.45
そ の 他				138	27.77	392.85
合 計	2,914,342	-4.28	-15.53	1,034,112	-1.65	5.64

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で130,533m³、4.28%の減少、前月比では536,154m³、15.53%の大幅な減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用で大幅に増加した他は全ての用途で減少、前月比では全ての用途で大幅に減少している。

一方、水道給水量は前年同月比で17,453m³、1.65%と減少したが、前月比では55,236m³、5.64%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除く全ての用途で減少、前月比では工場用を除く全ての用途で増加となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	82,305	11.52	-1.39	86,258	11.93	-1.41
西 山	51,573	33.88	0.25	47,108	36.29	0.96
米 山	24,169	9.15	7.75	22,182	11.03	4.77
合 計	158,047	17.54	0.45	155,548	18.19	0.14

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で23,586台、17.54％と大幅に増加したが、前月比では711台、0.45％と微増にとどまっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で23,946台、18.19％の大幅な増加、前月比では222台、0.14％の微増となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターの入口・出口で大幅な増加となったが、前月比においては柏崎インターが入口・出口ともに減少となった反面、西山・米山インターでは入口・出口ともに増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	350,729	3.29	0.37	140,306	1.63	-4.33
平 残	349,854	5.85	1.17	144,621	5.60	-3.90

預金は、末残が前年同月比で11,172百万円、3.29％の増加、前月比でも1,316百万円、0.37％の増加となっている。また、平残においても前年同月比で19,358百万円、5.85％の増加、前月比でも4,051百万円、1.17％の増加となり、末残・平残ともに堅調な推移を示している。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で2,251百万円、1.63％の増加となったものの、前月比では6,356百万円、4.33％の減少となり、平残においても前年同月比で7,675百万円、5.60％の増加となったが、前月比では5,874百万円、3.90％の減少となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,378	-3.96	2.92
交 換 金 額	4,971	6.67	16.71
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	-100.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で222枚、3.96％の減少となったものの、前月比では153枚、2.92％と増加している。また、交換金額においては前年同月比で311百万円、6.67％の増加、前月比では712百万円、16.71％と大幅に増加した。なお、不渡手形は発生しておらず、前年同月比で6枚、3百万円の減少、前月比では1枚、1百万円の減少となった。

4月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は14件（前年同月7件、前月5件）、負債総額31億円（同265億円、同19億円）、1件当たりの負債額2億円（同37億円、同3億円）となった。

地区別では下越地区で11件（新潟市7件、五泉市1件、東蒲原郡3件）、中越地区で1件（三条市1件）、上越地区で2件（上越市1件、糸魚川市1件）と発生している。業種別は建設業4件、製造業6件、販売業3件、サービス業・その他1件で、倒産原因別の状況は販売不振11件、その他3件となっている。

当月の企業倒産は14件、負債総額で31億円と前年同月比では件数で7件と大幅に増加したが、負債総額では前年同月に負債100億円以上の大型倒産が発生していたことから234億円と大幅に減少している。業種別では、建設業が4件発生しており、公共工事の減少や競争による受注価格の低下、資材価格の高騰など厳しい環境になっており、建設関連企業も含めて今後の動向が注視されることである。

県内企業は、引き続き原材料価格の高騰などから厳しい収益環境となっており、特に中小零細企業の資金繰りの悪化が表面化するなど、今後の倒産件数も増加基調に推移していく可能性は十分考えられる。